

2024(令和6年)度「自然観察会」～冬の森の観察会～（共催）の記録

北海道ボランティア・レンジャー協議会

観 察 会	冬の森の観察会(交流館前庭～エゾユズリハ～志文別線～大沢コース/周回3ヶ所)	
開催日時	2025(令和7)年2月2日(日)9:50-12:00 ～最終班ゴール約30分遅れ	
天 候	小雪、曇、薄日(開始時風速2m/s) 出発時△5.6℃ 正午△3.9℃(アメダス江別)	
参加状況	一般参加者:51人(うち、子ども3)8班/ボラレン:12人(前日下見会11人)	
観察記録 主なもの	草 本	オオウバユリ(花殻)、ヨブスマソウ(冬枯)、オオヨモギ(冬枯)、
	木 本	(果実)ナナカマド、ハリギリ、カツラ、ホオノキ(不稔?)、アサダ、サワシバ、ヤドリギ、サルナシ、ツルウメモドキ、ツタウルシ、(冬芽)シウリザクラ、ニガキ、ハクウンボク、カツラ、ヤマモミジ、シナノキ、ホオノキ、サルナシ、ツルアジサイ、ヤマグワ、ヤチダモ、オニグルミ、ミズナラ、コナラ、コシアブラ、キハダ、エゾノバッコヤナギ、オノエヤナギ、シラカンバ、ウダイカンバ、タラノキ、ツルマサキ、イワガラミ、ノリウツギ、エゾニワトコ、
	野 鳥	(留鳥)亜種シマエナガ、シジュウカラ、ゴジュウカラ、ハシブトガラ、ヤマガラ、ヒヨドリ、アカゲラ、* 鳴き声を含む、クマゲラ食痕も
	その他	(昆虫)クリオオアブラムシの卵(ミズナラの幹に一塊で越冬中) (動物)ユキウサギ、エゾリス、キタキツネ、 * 足跡
感想など	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍などでの中断を挟み、5年振りの2月開催にキャンセル待ちの参加者が。 ・年明けから極端な少雪も、数日前からのまとまった降雪で遊歩道は一本道と化す。～すれ違いが出来るよう前日午後と当日早朝、幅広スキーやスノーシューで整備。 ・意外にも、行き交う一般客は少なかった。 ・家族参加3組(子ども3)は別メニュー。小道具も駆使し、楽しんでいただけた。先の役員会協議で、今回から、子ども向けのオリジナル缶バッジを進呈した。 ・話題提供資料と当日配布の自然観察NOW等も活用し、冬芽・葉痕を直に観察。 ・下見会では雪上に落ちていたヤチダモ、アサダ、シナノキ、オオバボダイジュ、トドマツ、ツルアジサイなどの種子は、朝の新雪ですっかり埋もれてしまった。 ・やはりコース事情から、班単位での追い越しは容易でなく、ペース配分に腐心しつつも、各班、創意工夫のオリジナル・ガイドに務めた結果、概ね好評であった。 ・なお、班によって、大沢口に戻る時間が大きく前後したことは、今後の反省点。 	



開会式の模様 於:交流館前庭



ガイド風景



ガイド風景



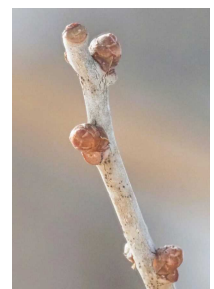
別メニューで楽しむ子どもたち



ガイド風景



クリオオアブラムシの卵



ツルウメモドキ

(記録担当:藤田 潔、富倉圭祐、藤吉 功)